

観光・物産のお問い合わせ

一般社団法人 DMO やつしろ

〒866-0861 熊本県八代市本町1丁目10-36 くまなンステーション
TEL/0965-31-8200
http://www.dmo8246.jp

八代市観光物産案内所 (JR新八代駅内)

〒866-0824 熊本県八代市上日置町4772-10
TEL/0965-35-6627

八代観光案内所 (JR八代駅内)

〒866-0831 熊本県八代市萩原町1丁目1-1
TEL/0965-32-2436

日奈久温泉観光案内所 (日奈久ゆめ倉庫内)

〒869-5135 熊本県八代市日奈久中町516
TEL/0965-38-0267

五家荘観光案内所

〒869-4514 熊本県八代市泉町椎原148
TEL/0965-36-5800

八代市観光・クルーズ振興課

〒866-8601 熊本県八代市松江城町1-25 4階
TEL/0965-33-4115
E-mail/kanko@city.yatsushiro.lg.jp

八代市イベント推進課

〒866-8601 熊本県八代市松江城町1-25 4階
TEL/0965-33-4132
E-mail/events@city.yatsushiro.lg.jp

熊本県八代市のホームページ

<http://www.city.yatsushiro.lg.jp/>

熊本県八代市

観光ガイドブック

やっしろ

きなっせ

小さな感動 心に残る おもてなし



ギネスにも認定された
世界最大級の柑橘類
八代特産「晩白柚」

熊本県の新たなランドマーク 「くまモンポート八代」オープン!

熊本県の海の玄関口である八代港。MAP A-2
2020年10月に国際クルーズ拠点
「くまモンポート八代」がオープンしました。

くまモンポート八代には、普段から市民が楽しめる場所がたくさんあります。間近でクルーズ客船を見ることができるのはもちろん、販売エリアで食事を楽しんだり、多目的芝生広場でゆっくと休憩できます。敷地内には高さ6mのビッグくまモンや54体のくまモン合唱隊が訪れる人たちをお出迎えしたり、緑豊かな日本庭園や竹林などがあり、四季折々の姿を楽しめます。

※入場制限を行っている場合があります。
最新情報を県HPでご確認ください。



三ツ島

クルーズ専用岸壁

旅客ターミナル

多目的芝生広場

販売エリア

駐車エリア
・大型バス最大150台
・乗用車最大685台
・開園日は自由に使用可能

くまモン合唱隊

ビッグくまモン

十二支くまモン

日本庭園

竹林の道

ミニ神社

センターストリート

旅客ターミナル

多目的芝生広場

販売エリア

センターストリート

駐車エリア

十二支くまモン

ミニ神社

日本庭園

竹林の道

「くまモンポート八代」は、クルーズ船のお客様はもちろんのこと、観光客や県民の皆様にも、楽しんでいただける憩いの場・集いの場です。

- ★誰でも自由に散策や休憩といった日常的な利用ができます。
- ★フードコートでは県内のうまかもんが楽しめます。
- ★旅客ターミナルの中にCIQ(税関、出入国管理、検疫)が配置されることにより、入国手続きにかかる時間が大幅に短縮されるので、観光の時間が増えます。
- ★高さ6mのビッグくまモン、くまモン像54体を並べた合唱隊のインスタ映えスポット。
- ★日本庭園、竹林の道、ミニ神社などの癒しの空間。



やつしろ

体験

八代の
“幸せ旅”
を体感



目や歯・手足の神様と出逢える町

日奈久 ちくわ 福めぐり



入浴券付きのお得な
プランも人気です!

ガイドと行く
路地裏ご利益めぐり

日奈久名物
ちくわ付

DMOやつしろが企画する
八代地域の“ちょっと特別”な
体験プログラムをご紹介します。

体験プログラムのご予約・お問合せは
DMOやつしろまで

電話 0965-31-8200

湯治場だった日奈久温泉には、
路地裏に目の神様や歯の神様、手と足の神様など
数多くの神様がいらっしゃいます。

日奈久の歴史とともに路地裏にひっそりと佇む
神様の元へガイドがご案内します。

日奈久らしさ満載のガイドツアーをお楽しみください。

- 体験時間/①10:00~ ②13:00~ ③15:00~
- 所要時間/約60分(入浴券付プランはこの限りではありません)
- 定員/5名~
- 料金(税込)/ガイドツアー(保険料込)/800円
温泉入浴券付 大人(中学生以上)/1,250円
子ども(3歳~小学生)/1,000円

日奈久ちくわ福めぐりの流れ

なまご壁は
フォトスポット
として人気。



- ①観光案内所 日奈久ゆめ倉庫が日奈久温泉センター ばんべい湯からスタート。
- ②温泉発見の由来を記した石碑。まずはここで、日奈久温泉の歴史に耳を傾けてみましょう!
- ③日奈久の街角には歯の神様、目の神様、足手荒神の他、たくさんの神様が点在しています。町を見守るお姿に「心がほっこり」。
- ④散策の途中には、その昔、火災防止用だった「なまご壁」の建築技法が残った建物も!
- ⑤新鮮なスケソウダラヤイトヨリダイを使って作られる「日奈久ちくわ」。弾力ある食感に感動もひとしお!



日奈久温泉を発見した六郎左衛門の像



足手荒神は手形・足形の木札に
願い事を書いて(木札 各300円)

散策の後のちくわは、サイコー!

八代城を楽しもう!

八代城跡お堀舟めぐり

普段見ることができない角度で、八代城跡を船上から眺めることができます。ご家族・お友達みなでのんびりと八代城跡で舟めぐりしませんか?

- 体験場所/八代城跡公園内(八代市松江城町7-34)
- 体験時間/不定期運行(1~11月DMOやつしろまでお問い合わせください)
- 所要時間/約30分 ●催行人員/6名~12名(1隻あたり)
- 料金(税込)/大人1,000円、幼児・小中高500円、
足漕ぎボート(1艘)1,000円



八代城の歴史や
恋一とんち話など船頭さんのお話もおもしろい

いざ体験!大自然からの贈り物

やつしろ舟出浮き

漁師さんの船に乗り八代の伝統漁法を間近で見学し、獲れたての海の幸(イカ、エビ、カニ、チヌ等)を、無人島でご賞味いただく海のピクニックです。季節により漁法・魚種が変わります。

- 体験場所/市内各乗船場
- 体験時期/4月~11月
- 所要時間/約3時間30分 ●催行人員/1名~11名
- 料金(税込)/お土産ありプラン 1名~5名 38,500円(基本料金) 1名追加毎にプラス5,500円
お土産なしプラン 1名~6名 34,650円(基本料金) 1名追加毎にプラス4,950円

八代海の
海の幸に舌鼓



自分で焼くともっと美味しい!

日奈久ちくわ焼き体験

新鮮で活きのいい白身魚をふんだんに使った日奈久名物「ちくわ」!口にすると弾力のある食感と海の香りが広がります。その焼きたてをぜひご賞味ください。

- 体験場所/日奈久温泉センター「ばんべい湯」前広場
(八代市日奈久中町316)
- 体験時間/14:00~17:00
- 所要時間/約30分 ●催行人員/1名~
- 料金(税込)/1~10名 10,000円 1名追加ごとにプラス1,000円

こんがり焼けたよ!



イ草はご縁を結ぶ縁起物

日本一のイ草の産地でミニ畳作り

写真立てや人形飾りの敷物として活用できるミニ畳作り。
イ草を使った話題のアイスクリーム等の試食も楽しめます。

- 体験場所/1~4名:イナダ有限会社(八代市鏡町内田438-2)
5名以上:別施設(別料金)
- 体験時間/①10:30~ ②14:00~
- 所要時間/約120分 ●催行人員/1名~50名
- 料金(税込)/1名 3,300円、2~14名 3,000円、15名以上 2,750円



ミニサイズ
だけど本格的



観て、触れて、知って楽しむ、やつしろの旅。

国指定名勝「不知火及び水鏡」

坂本の吊橋

国指定有形民俗文化財「久遠子古代舞」

五家荘平家の塁

東陽石匠館

国指定文化財(建造物・史跡)
日奈久温泉新地平等寺門

九州のほぼ中央に位置する八代市は、古くは万葉の時代から文化や経済の中心として発展してきました。
堀と石垣に昔日の風情を残す城下町、六百年の歴史を秘めてたずむ日奈久。満々と水をたたえ八代海へ注ぐ球磨川、山深き平家落人伝説の里五家荘。異国情緒あふれる時代絵巻八代妙見祭、全国の花火師が集うやつしろ全国花火競技大会。市内各地に残されたたがね橋や干拓樋門などの日本遺産に認定された「八代を創造(たが)した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～」。

歴史の薫り、文化の彩り、交流の賑わい、八代には、いろいろな素顔があります。豊かな自然と風土にまつまれた、故郷「やつしろ」を訪れてみませんか？

CONTENTS

- 01 熊本県の新たなランドマーク
くまモンポート八代
- 03 やつしろで体験
八代地域体験プログラム
- 05 観て、触れて、知って楽しむ、やつしろの旅
CONTENTS(目次)
- 07 歴史の浪漫に想いを馳せる
八代の歴史と文化
- 09 天空の秘境に心が染まってく
泉・五家荘エリア
- 11 豊かな自然を肌で感じる
鏡・千丁・東陽・坂本エリア
- 13 市街を散策し寄り道の楽しさを満喫
八代市街地エリア
- 15 癒しの名湯に心と体をかけていく
日奈久温泉・八代の温泉施設
- 17 受け継がれた伝統を見て、触れて、感じる
八代の祭り・イベント
- 19 大地のめぐみ 水のめぐみ
八代の自然の恵み
- 21 八代の日本一
挽白柚・トマト・いくさ
- 23 八代の美味しいもの地元素材がたっぷり
八代の美味しいグルメ
- 25 匠の技が光る
八代の特産品
- 26 やつしろの自慢の特産品が盛りだくさん
八代の物産館
- 27 やつしろ観光おすすめコース
八代の花ごよみ・イベント情報
- 29 きなっせ八代ガイドマップ
交通アクセス・宿泊情報・wifi情報

せんだん湯の滝



やつしろ全国花火競技大会

日奈久温泉

ユネスコ無形文化遺産
「八代妙見祭の神幸行事(神馬)」

ユネスコ無形文化遺産
「八代妙見祭の神幸行事(笠鉦)」



国指定史跡「八代城跡」

ユネスコ無形文化遺産
「八代妙見祭の神幸行事(籠籠)」

「八代をからこま」
八代市観光

歴史 Heritage の浪漫に 想いを馳せる



松浦野の肥後花菖蒲

◆松浜軒(国指定名勝) MAP A-2

元禄元年(1688)、松井家4代直之が母崇芳院尼のために建てた御茶屋で、美しい庭園があります。四季折々に花が咲き、5月下旬～6月上旬に咲く肥後花菖蒲が有名です。「松浜軒」の名前は当時八代海を見渡す浜辺が近かったことに由来します。園内の展示室には茶道具をこよなく愛した松井家に代々伝わる茶道具や書画を展示しています。特に、3月に展示される江戸時代の雛人形が人気です。

TEL0965-33-0171



八代軍記

遙かな時代から政治や文化の中心地だった八代では、武家文化も、また華麗な花をさかせました。今も往時の姿をとどめた建物、余韻と痕跡を残す場所…歴史をくぐり抜けた風景はどれも、情緒豊かな感動を秘めています。



松浜軒のなまこ壁



小天守跡

八代には古重・麦島・八代の三つの城跡が残っており、全国的に見ても非常に希少な例です。八代城跡内には八代宮が祀られており、ここは桜の名所として有名であり、多くの花見客で賑わっています。

◆八代城跡(国指定史跡) MAP A-2

加藤正方が、元和8年(1622)に築いた城で、城の石垣には石灰岩が用いられています。寛永9年(1632)細川忠興が入城、さらに正保3年(1646)松井興長が入城して以来明治3年(1870)の廃城まで、松井氏の居城となりました。



八代城跡内の八代宮



八代神社(妙見宮)

◆八代神社(県指定重要文化財) MAP B-2

TEL0965-32-5350

妙見町にある神社で、地元では妙見さんと呼ばれています。上宮、中宮、下宮の三宮からなり、現在の社殿は、元禄12年(1699)と寛延2年(1749)に改築され、平成27年(2015)には本殿が約260年ぶりに修復されました。日本三大妙見の一つに数えられ祭礼は九州三大祭の一つとして、国の重要無形民俗文化財に指定され、人出も20万人を超える賑やかさです。境内には、妙見祭の出物(獅子・虫蛇・木馬)の常設展示館があり、いつでも見ることができます。



常設展示館



春光寺のアジサイ

◆松井家墓所(春光寺) MAP B-2

〈国指定史跡〉細川朝利により松井家の菩提所として延宝5年(1677)に落成しました。明治10年(1877)の西南の役では、この地は戦場となり、所々に弾痕が残っています。また、境内は、俳句などの句碑が多く残り、近年は句碑寺としても有名です。そして梅雨の時期になると、100株ほどのアジサイが見頃になり、地元の人々には「アジサイ寺」としても親しまれています。



◆徳淵の津跡 MAP A-2

八代城の南に位置する前川は、古くから貿易の港として賑わいました。江戸時代には、船着き場や荷揚げ場、番所があり、現在では石灰岩でできた石段が残ります。また近くには中国から九千匹の河童がここから上陸したとされる、河童渡来の碑があります。

八代妙見祭を中心とした 民俗芸能の魅力を紹介。



MAP A-2

市内の民俗芸能を紹介する飛び出す絵本や八代妙見祭、市内の民俗芸能、日本遺産を学べるタッチパネルがあります。お祭り体験シアターでは、八代妙見祭で使用される笠鉦を展示しています。巨大スクリーンでは八代妙見祭に関する映像をご覧いただけます。お宝ギャラリーでは、絢爛豪華な刺しゅうが施された水引巻や笠鉦上部の飾りなど普段めったに見ることができない貴重な品を展示します。



お祭りせんせん館

八代市民俗伝統芸能伝承館

熊本県八代市西松江城町1-47 TEL0965-37-8737
https://dendenkan.city.yatsushiro.kumamoto.jp/

城下町やつしろの歴史や 文化を博物館で体感。



MAP A-2

市街中心部八代城跡の西側にある八代市立博物館では、この地で育まれた八代独自の歴史や文化、人々の生活を考古・歴史・民俗・美術・工芸や、季節毎の特別展覧会など、さまざまな角度から歴史や文化を紹介する展示を行っています。過去のメッセージを生き生きと伝え、未来を切り拓く創造の場となる、そんな博物館を目指しています。



八代市立博物館 未来の森ミュージアム

YATSUSHIRO MUNICIPAL MUSEUM
熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555
https://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/

MAP A-3 不知火及び水島 (国指定名勝)



水島は、城前川河口の堤防から500ほど離れた所にある小さな島です。日本書紀の景行天皇18年4月の条に、天孫が島の島で女車をなまごうとした際、水が無かったので小左という人物が天地の神々に祈ったところ冷水が湧き出したので、それを天孫に差し上げたことができた。そのためこの島を水島と呼ぶという伝説があります。万葉集では長田毛により「聞きし如き」とよく書しくも神さび居るかこの水島(人の言うように、驚く不思議にも神々しく見える)とこの島は(と歌われています。



お福舟めぐり



月見橋跡の大観古



築城100年記念
「八代城跡」 各100円(税込)
「八代城周遊MAP」

八代城跡(八代宮)

◆**せんだん轟の滝** MAP E-2
 高さ70mを誇る一大瀑布で、平成2年に日本の滝百選にも指定されました。滝壺の近くまで遊歩道が続き、轟音を立てながら一気に下る迫力ある姿を間近で見ることができます。せんだん轟の滝と吊り橋周囲の紅葉は見事で、紅葉の時期は梅の木森公園より約2週間程遅れます。

自然豊かな泉町の魅力をご紹介します。
 ◆ご予約・お問合せ
泉町観光ガイド
インストラクター協会
 事務局(泉支所地域振興課内)
 TEL 0965-67-2111
 (料金はお問合せください)
 ※ガイド1人につき10名程度が目安です。
 (1回観覧までに予約が必要です。)

Forest 天空の**秘境**に 心が染まっていく

熊本県・天空の山里**五家荘**
 五家荘に伝わる平家伝説や歴史、大自然を紹介したパンフレットです。



五家荘渓流キャンプ場



◆**梅の木轟公園吊橋**
 平成10年に梅の木轟の滝へ渡るために造られた、橋長116m、高さ55mの五家荘最長の吊橋です。橋の中央からは、四季折々の渓谷の景色が満喫できます。

MAP F-2



◆**梅の木轟の滝**
 高さは38mの何段にも重なり合って落ちてくる壮麗な滝で、梅の木轟公園吊り橋が完成するまで、滝の滝といわれていました。



二本杉広場



泉茶

平家・菅原伝説の里 五家荘

五家荘地方は「平家・菅原伝説」が伝わる九州中央山地の奥深い山間に点在する集落で九州の秘境と言われ、詩情あふれる山里です。春には新緑に輝き、夏には溪流での水遊び、秋には紅葉が彩り、冬には荘厳な雪景色など四季折々に多彩な顔を持っています。



やっしる



泉町

福寿草

泉町五家荘の岩宇土山周辺は、春を告げる福寿草が群生するスポットとして知られています。見頃は2月～3月ごろです。

MAP F-2

◆横木の吊橋

全長72m、高さ35mのあやとり橋と、全長59m、高さ17mのしゃくなげ橋からなる上下二つの親子橋です。春には新緑、秋には紅葉のスポットとして人気があり、色とりどりに染まった山々を背景に、寄り添うようにかかる二本の吊橋は、渡っても、端から見ても見事です。



MAP E-2

◆左座家

TEL 0965-67-5510
 菅原道真の2人の子孫が、菅原一族の追討を避けて兄が山奥に逃げ込みつきた摩太郎と名乗りこの地を支配しました。なお、弟は根木地区を支配し、この建物は200年前前に建てられた菅原を憑依で今もなお昔の面影が息づいています。



MAP F-2

◆緒方家

TEL 0965-67-5118
 壇ノ浦の戦いで源氏に敗れた平清盛の子孫が緒方姓を名乗り、根木地区に隠れ住んだと云われています。この建物は300年ほど前に建てられたもので、合掌造りの中でも特に珍しい鬼造り屋根で2階に隠し部屋などもあり、源氏伝説の一部をかいま見ることができます。

ふたつの落人伝説の里



◆平家いずみお茶まつり

お茶や柚子など特産品の品評会や展示即売をはじめ、ステージイベントなど多彩な内容で開催し、町内外から多くの人々が訪れます。人気は特産品販売やヤマメの塩焼きなどのふるさとコーナーです。



◆鬼山御前伝説

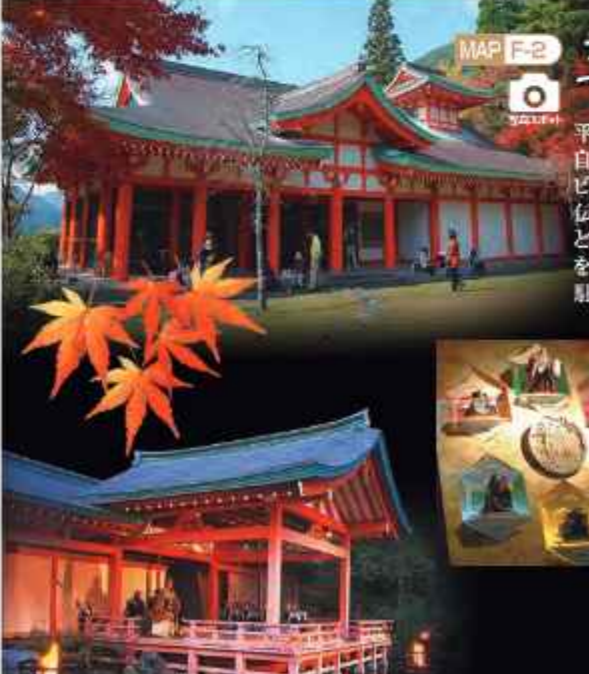
平家の宮女、玉虫御前は源氏の戦いに敗れた源氏の子孫を匿し、弟と共に奥の山奥に逃げ、名も鬼山御前と改名し、神道村岩裏に住みつきました。その後平家の追討を命じられた形原と一之瀬の戦いで、源氏軍が五家荘に入るのを引きとめて奮然と立ち、源に落ちて結ばれます。玉虫は、多くの子孫を育て、「乳の神様」として、泉町の泉口岩宮神社に祀られています。

MAP F-2

◆五家荘平家の里

TEL 0965-67-5372

平家落人伝説を今に伝えるテーマ施設で、豊かな自然に囲まれた園内には、展示品や映像、人形パビリオンなどで平家の歴史を紹介している「平家伝説館」や神楽やイベントが行われる「能舞台」などが点在しています。また山菜料理や手打ちそばを食べることができる茅葺き屋根の食事処もあり、駐車場も完備されています。



Nature 豊かな自然を

肌で感じる

鏡・千丁・東陽・坂本エリア



海苔人工採苗発祥之地
鏡町は漁業も盛んで、沿岸では潮干狩りや竿釣りのユニークな「シャクつり」が楽しめます。また海苔の人工採苗発祥之地であり、漁港に石碑が建っています。

◆鏡オイスターハウス
TEL0965-53-9352
世界的に有名なクマトオイスターの発祥の地といわれている鏡町で、八代特産として牡蠣を提供しています。
開設期間/11月中旬～なくなり次第終了



◆大筒樋門群と大筒節・大筒名所 MAP B-1

鏡町は元禄年間から数多くの新地干拓によって、その面積を増やし発展してきた地区であり、大筒樋門群は、鏡町両出の字大筒と千丁町古間出に所在し、千丁町を境に流れる大筒川に造られました。大筒節は、干拓事業に従事した人々が歌ったのが残ったので、郷土民謡大筒名所の発祥地となりました。



◆い草の里公園 MAP B-2
い草の里まつりの会場で、広々とした芝生広場に、ローラーすべり台やスプリング遊具など施設も充実。近隣には温泉施設も兼ねた「千丁健康温泉センター」があります。



◆せんちょうい草の里まつり
い草を育ててきた祖先をしのぶと共に、自然の恵みに感謝するお祭り。特に目玉である「い草みこし」は迫力満点です。

八代海を望む千丁の町
◆ふる郷愛鏡祭
鏡文化センター周辺で開催され、ジョギングフェスティバルや豊投げ大会、四半的弓道大会など、さまざまな催しが行われ、地元特産物の展示や販売もあります。



◆女相撲(竜神社)
秋の大祭で奉納される女相撲。安政2年(1855)、干拓工事が難工事だったため、基礎固めに女の人も手伝ったことから始まったといわれています。



◆鯛取り神事(印籠神社)
印籠神社春季大祭の目玉行事。地元では「どろんこまつり」と呼ばれ、親しまれています。お神酒で清めた締め込み姿の若者数十名が鏡ヶ池に飛び込み、鯛や泥を見物人になげつけます。泥がかかればその年は無病息災と言われています。



◆岩崎神社(上土城跡)
永正2年(1505年)、現在の千丁町にあった上土城主の岩崎主馬忠久が領内に初めてい草を創始したことで、い草の神様として祀られています。毎年4月・11月に、岩崎忠久公に感謝するとともに、い草の豊作を願う岩崎神社大祭が開かれています。



◆東陽石匠館 TEL0965-65-2700 MAP C-1
石造りアーチのめがね橋を築造したことで有名な石工集団「種山石工」を紹介する資料館です。実際の石で組み上げたアーチ状の石橋をはじめ、石橋を支える土台や、橋に関するさまざまな資料を展示しています。



◆石橋公園 MAP C-1
町のシンボルゾーンとなる公園。町内に散在する石橋のひとつ「重見橋」を移設し、落ち着きのある日本庭園を配して作られています。敷地内には「東陽交流センターせせらぎ」、「ジンジャーの森」があり、家族連れで賑わっています。



◆東陽しょうが祭
東陽町の特産品であるショウガの収穫祭です。当日は採れたてのショウガを求めて県内外から多くの観光客が訪れ、会場ではショウガや特産品の販売などの他様々なイベントが行われます。



◆さかもと八竜天文台・八竜山自然公園 TEL0965-45-3453
標高約500mの八竜山山頂にあり、昼は八代平野や八代海、遠くは鳥取半島や雲仙、晴れた日は熊本城も眺望できます。夜はコンピューター制御の世界最大級EDレンズで見る星空は感動。敷地内には宿泊施設のロッジ、コテージもあります。

東陽
しょうがと石工の里

八代を創造した石工たちの軌跡
～石工の郷に息づく石造りのレガシー～
かつて全道で築かれた「めがね橋」を今も多く見ることが出来る熊本。その架設の多くには、八代地域で生まれ育った石工たちが携わったとされています。彼らの卓越した手廻りは日本各地で必要とされ、「万世橋」や「通潤橋」などの架設を成功に導き、全国に名声を轟かせました。そのため、八代は多くの「各石工」を輩出した「石工の郷」とよばれています。
石工たちは、八代に広大な平野と豊かな実りをもたらした「干拓事業」や、地域の交通を支えた「めがね橋」の架設などに携わり、八代の発展と人々の生活基盤づくりに長きにわたって貢献する中で、己の技を磨き上げ、名もなき石工から名石工へと成長していきました。
彼らが築いた堅牢な干拓樋門、川面に美しいアーチを描くめがね橋、見事な榎田の石垣などの石造りのレガシーは、百余年たった今も、まちの景観や人々の暮らしの中に生き続けており、訪れる人々を「石工の郷」へと誘ってくれます。



◆生姜
全国有数の生姜の産地。地域の特性を活かした棚田で栽培が行われ、玉太りがよく繊維質の少ない良質な生姜が特長です。毎年10月にあるしょうが祭りでは、生姜を目当てにたくさんの方が訪れます。



◆さかもと鮎やな TEL0965-45-3800
広域交流センターさかもと館内に期間限定でオープンします。球磨川のロケーションを楽しみながら、盛りだくさんの鮎料理を楽しめます。



◆くま川ワイワイパーク
製紙工場跡地に作られた広大な公園。油谷川を挟み、運動ゾーンと遊戯ゾーンに分かれる。家族連れはもちろん、老若男女問わず楽しめます。



※坂本地域は令和2年7月豪雨により被災し現在復興復旧中です。

坂本
清流球磨川が流れる町



◆広域交流センターさかもと館
(道の駅坂本) TEL0965-45-2141
八代ICから約20分の場所にあり球磨川に面しています。坂本町の特産品を販売しており「ほんべいゆソフトクリーム」が人気です。



八代市街を巡るなら循環バスが便利



八代市街地循環バス
 乗車1回につき180円
 R5年10月より

- ゆめバス
- みなバス
- まちバス

清流球磨川が悠々と流れ
 当時の風情を今に伝える川辺の光景。
 九州新幹線の開通で新しいスポットが
 生まれた新八代駅界隈。
 城下町の区割りを残した街並みを
 自分のペースでのんびり歩けば、
 そこにあった物語に出合える
 城下町情緒があります。

市街を散策し 寄り道の楽しさを満喫

Town map

新八代駅界隈

MAP B-2

- ◆松中信彦スポーツミュージアム
TEL0965-65-6603
館内には八代市出身の松中選手の生い立ちを紹介するパネルやこれまで獲得した数々のタイトルを

 称えるトロフィーやメダル、さらには記憶に残る名勝負の際に使用したバットなどおよそ250の展示物が飾られています。
- ◆八代よかど物産館
TEL0965-32-3600
JR新八代駅の近くにあり、八代の産地直送農産物、加工品、特産物を販売しています。また、併設のレストランでは新鮮な八代の食材を生かしたメニューを取り揃えてあります。

- ◆八代市観光物産案内所
TEL0965-35-6627
JR新八代駅内にあります。「蜂蜜専門店にしかか」が、店舗運営に合わせて観光案内もしてくれます。お気軽にお問合せください。

- ◆アウトドアステーションやつしろ
JR新八代駅東口から徒歩1分です。電動アシスト自転車やキャンプ用品がレンタルできます。

- ◆新八代駅がめさん公園
八代妙見駅がコンセプトの公園で、笠鉾や亀蛇のモニュメントを設置しています。広々とした多目的広場を中心に、様々な遊具を設置した遊戯の広場、健康遊具を多数設置した健康広場、1周345mのウォーキング・ジョギングロードがあります。


公園へ行こう!!
Holiday in the PARK
 八代市内の人気の高い公園10カ所を
 厳選して紹介したパンフレットです。



八代の中心市街地 本町アーケード界隈

MAP B-2

- ◆からっぽ広場
さまざまなイベント、作品展示、コンサート、フリーマーケット、チャリティーバザー、ガーデンパーティーなど、物販の即売や物産展などいろんなイベントブースとしてご活用いただけます。

- ◆こいこい広場
各所にくまモンが設置された広場は、休憩スポットとして利用されているほか、フードコートや屋台村などのイベント広場としても活用されています。一般の方の出店も可能ですのでお気軽にお母ねください。TEL090-1701-3353
 (まちなか活性化協議会タウンマネージャー)
 昭和48年から約50年に渡り、親しまれてきた中心市街地の商店街。本町1丁目から3丁目まで約700mの直線アーケードで、熊本県内では2番目の大きさ。美味しいグルメやスイーツはもちろん、老舗の呉服屋さん他、地域に密着したい方をお店があり、また季節毎の様々な催しやイベントも開催されます。

◆遙拝八の字広場

TEL0965-33-4115 MAP B-3

2022年8月に球磨川河川緑地の上流側にオープンした、キャンプ、BBQ、水遊びなどのアウトドアを楽しめる広場。球磨川や、豊かな自然、肥後おれんじ鉄道の鉄道橋を望むロケーションの良さなど、なんといっても予約不要&無料で利用できるという点が魅力です。敷地内には芝生広場(焚火台や焚火シートを使えば火気の取扱い可能)と直火可能な砂利広場が設けられています。

住所：八代市渡町字遠路1267
 営業：年中無休
 トイレ：1カ所
 駐車場：普通車107台(障がい者駐車場5台を含む)、大型バス6台
 料金：基本無料 ※イベントの実施や、広場を貸し切りたい場合などは、申請が必要となりますので、お問い合わせください。
 電話：0965-33-4115(八代市観光クルーズ部興課)
 注意：予約状況を確認の上、お越しください。



Spa 癒しの名湯に 心と体がとけていく



日奈久温泉 まちあるきガイド本
昔日の面影が残る日奈久の路地裏を、のんびり道草を楽しみながら巡ります。

(市指定有形文化財) MAP A-3

温泉発見の伝説が残る
◆「日奈久温泉神社」
湯の神、市杵島姫命を祭神とし、応永26年(1419)に奉天社として建立されました。神階の彫刻が見事で、正面に「雲に龍」、左側に「柳に鳳凰」、右側に「雲に麒麟」、後ろに「波原」の彫刻があります。境内には温泉「お告げの石」やイベント広場には、ギリシャのコロシム風の石の枕敷席があり、季節毎にいろんなイベントが開催されています。

開湯600年の歴史を誇る 日奈久温泉

日奈久温泉街は狭い路地が入り組んだ懐かしさを感じさせる風情ある古い町です。路地裏には地元の人しか知らない隠れたスポットがいくつもあります。ちくわを頬張りながら、のんびりと路地裏散策もお楽しみください。温泉とともに、日奈久温泉600年の歴史を感じることができます。

ガイドと歩けばさらに楽しくおもしろく、八代の魅力をご紹介します。
◆ご予約・お問合せ
やっしる観光ガイド協会
事務局(八代市観光・クルーズ振興課内) TEL.0965-33-4115
(平日/8:30~17:15) FAX.0965-33-4516
(料金はお問合せください。)
※ガイド1人につき10名様程度が目安です。(1日超過までに予約が必要です。)

山頭火が宿泊した旅館
◆「おりや」MAP A-3
1930(昭和5)年9月に、放浪の俳人種田山頭火が、宿泊した宿として知られる旅館です。

日奈久観光交流施設
◆「日奈久ゆめ倉庫」TEL.0965-38-0267
観光案内所を併設した館内は貸しスペース(有料)として利用できる他、利用が無い日には、市民の皆様の話スペースとして、また観光客の休憩所としてご利用いただけるよう「無料開放」しています。
■営業時間
9:00~22:00(※但し、施設の利用がない場合は17:30まで)
休館日:1月1日~3日、毎月第3火曜日(※但し、祝祭日は翌日)

湯治の町・日奈久の名湯ここにあり。
日奈久温泉センター
◆「ばんべい湯」TEL.0965-38-0617
日奈久温泉センター「ばんべい湯」は細川藩營の「本湯」をイメージし、1階が公衆浴場、2階は大浴場(サウナ、露天風呂付き)、3階は家族風呂となっていて、大広間や物産販売コーナーもあり、ゆっくりと疲れを癒すことができます。
■営業時間
10:00~22:00
休館日:1月1日、毎月第3火曜日(※但し、祝祭日は翌日)
■利用料金
◎大浴場/大人520円 子供310円
◎家族風呂/1,040円~(入湯料別)

坂本温泉

さかもと温泉センター MAP E-4
◆クレオン(球麗温)
自然を満喫しながら楽しめる露天風呂をはじめ、レストラン等の施設も充実しています。
TEL.0965-45-8814
■営業時間
10:00~20:00
(※但し、入館は19:30まで)
休館日:毎週木曜日(※祝日は営業)
12月31日、1月1日
■利用料金
大人:500円
子供:310円(中学生以下)
3歳未満:無料

さかもと温泉
◆坂本憩いの家
きれいに手入れをされた中庭を眺めながら、ゆ〜くりと入浴することができます。
TEL.0965-45-8820
■営業時間
12:00~20:00
受付は19:30まで
休館日:毎週火曜日(※祝日は営業)
12月31日、1月1日
■利用料金
大人:360円
子供:260円(中学生以下)
3歳未満:無料

千丁温泉

◆千丁健康温泉センター
ほのかに湯った塩湯が特徴の掛け流し温泉です。
TEL.0965-46-2611
■営業時間
10:00~21:00
受付は20:30まで
休館日:毎週月曜日(※但し、祝祭日は翌日)
■利用料金
大人:420円
子供:320円(小学生以下)
3歳以下無料、65歳以上及び障がい者等320円

東陽温泉

東陽交流センターせせらぎ MAP C-1
◆かけ流し天然温泉夢あかり
天然温泉、野菜レストラン及び地元農家直売の野菜販売所等がある複合施設です。
TEL.0965-65-2112
■営業時間
10:00~21:00
休館日:毎月第2水曜日
■利用料金
大人:520円
子供:250円(小学生以下)
シニア:310円(70歳以上)

Festival

受け継がれた**伝統**を 見て、触れて、感じる。



江戸時代、武士中心の祭礼から町衆・百姓衆も参加して、地域一体で作り上げる祭礼へと発展してきたユネスコ無形文化遺産「八代妙見祭」。異国情緒あふれる当時の豪華さを受け継ぎ、時代絵巻さながらに静と動が織りなす八代固有の伝統を未来に伝えていきます。

御夜 妙見祭の前夜祭で、本町アーケード通りで、笠鉦・竜蛇・獅子等の展示や各種伝統芸能の披露など、様々なイベントがあります。



九州三大祭
八代妙見祭ガイドブック
八代妙見祭の神幸行列の歴史や魅力を詳しく紹介したガイドブックです。(有料)

◆八代妙見祭の神幸行事 (ユネスコ無形文化遺産)

八代妙見祭は、宮地地区にある八代神社(妙見宮)の秋の大祭で、江戸時代から続く熊本郡を代表する秋の祭礼行事です。11月22日に神幸行列(お下り)、御夜、23日に神幸行列(お上り)が行われ、獅子や笠鉦、竜蛇、花奴、木馬、舞馬など、江戸時代から受け継がれてきた伝統ある出し物が数多く参列し、絢爛豪華な時代絵巻として観るものを魅了します。長年におたる貴重な伝統文化の保存と継承が評価され、平成23年3月9日に「八代妙見祭の神幸行事」の名称で国重要無形民俗文化財の指定を受けました。また、平成28年12月11日にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。

●開催日/11月22日-23日



◆やっしろのお籠祭り
国指定名勝「松浜軒」をはじめ、市立博物館、商店街や日奈久温泉街など、市内各所にお籠様が飾られます。また、スタンプラリーやお茶会などさまざまなイベントも開催されます。

●開催日/2月~3月



◆九州国際スリーデーマーチ

美しい自然と球磨川、永川で育まれた日本一の「い草」の産地である八代平野を舞台に、地域内の多くの文化財や名所等を散策する3日間にわたって開催される歩く祭典です。会場では各種芸能や物産展等が開催されます。

●開催日/3月上旬



◆八代くま川祭り

球磨川の恵みに感謝して行われる、市民総参加の夏祭り。みこしやカラオケのど自慢大会、約4500人の総踊りの他、アーケードでは本町土曜市も開催され、大変賑わいます。

●開催日/8月第1土曜日



◆みなと八代フェスティバル

当日は、海上自衛隊や海上保安庁の艦船が入港。艦内見学が催されることもあります。また、大人気のヨットやモーターボートの体験クルージングなど、海に親しむイベントも盛りだくさん。子ども広場、県南物産展など様々な見学ブースもあります。

●開催日/11月上旬 ※変更の場合あり



全国の有名花火師の技に
25万人の観客が酔いしれる
全国花火競技大会

◆やっしろ全国花火競技大会 10月第3土曜日



毎年10月に開催される、西日本を代表する全国花火競技大会で、北は秋田から南は鹿児島まで、全国の有名花火師30業者が、技を競い合います。5号玉と10号玉の競技花火のほか、余興としてミュージック花火などが果実できます。また、大会当日は花火セミナー、物産展も開催され、約25万人の観客が賑わいます。



ユネスコ無形文化遺産 八代妙見祭 多言語音声ガイド

日本語 English 한국어

中文 簡体字 中文 繁体字

八代妙見祭の魅力文字と音声、画像で紹介。



八代の 祭り イベント



◆日奈久温泉スプリングフェスタ
【日奈久温泉六郎神社感謝祭】
今から約六百年前、日奈久温泉を発見した浜田六郎に感謝するお祭りです。御山ウォークや宝探し、ちくわ焼き体験が行われます。

●開催日/3月最終日曜日



◆日奈久温泉井の湯祭り
毎年盛夏、上川井の日に行なわれます。この日に入浴すれば、温泉の効き目が千日分に匹敵することから始められました。温泉街をお神輿等の神幸行列が練り歩きます。

●開催日/盛夏土用丑の日



◆九月は日奈久で山頭火
昭和5年9月に漂泊の俳人「山頭火」が日奈久を訪れたことを記念し始めました。山頭火ウォークおみやげや句会・山頭火が泊まった本質宿「おみやげ」の一般公開等、1ヶ月間様々な催しが行なわれます。

●開催日/9月



◆晩白柚風呂
日奈久温泉の風物詩「晩白柚(ばんべいゆ)風呂」。八代特産で世界最大級の柑橘類「晩白柚」が浮かんだ温泉で、体の芯までほかほかに、湯船に浮かぶ晩白柚の存在感とさわやかな香りを楽しめます。

●開催日/12月中旬~1月末

その他の祭りイベントについてはP.20の年間イベントカレンダーをご覧ください。

大地のめぐみ

八代は、東に九州山地が連なり、豊かな大地や自然の恵みが育てる
い草、トマト、晩白柚は、どれも生産量日本一です。
先人の知恵を伝承したとうふの味噌漬や、四季折々に各地域の
特色をいかした生姜、お茶、椎茸、柚子、メロン等も八代の誇る特産品です。



じゃがいも

「愛ポテ」の愛称で知られ、県内一の収穫。
出荷を誇るメークイン種の白いじゃがいもです。



柚子

九州山地の段々畑で太陽をいっぱい浴びて
栽培された柚子は、皮質、香りとも品質が高く、
「柚子こしょう」や「柚子ばん」、「ゆずマーマレ
ード」など多くの加工品が作られています。



椎茸

五家荘一帯で栽培される椎茸は、
香り高く、肉厚で柔らかな食感が
特徴です。煮物やでんぷらなどに
最適で、料理に欠かせない最高の
だし汁もとれます。



梅

昭和56年、福岡県太宰府天満宮の
分け根を五家荘に植樹しました。
これに由来し、五家荘産の梅を材
料に製造した梅干しを天神の実り
と名付けました。

恵み豊かな大地から、
育む人の心を添えて。



からし蓮根

シャキシャキとした歯ごたえの蓮根と鼻にツーンと
抜けるからし味噌の風味はクセになります。



とうふの味噌づけ

平家の落人たちが保存食とし
て作っていたものだと伝えら
れているとうふの味噌づけ。



かずら豆腐

かずらでくくっても崩れない
ことが、この名前の由来です。



ぼんべい柚味噌

八代を代表する梅橘類、晩白
柚の皮を薄く削り手作りの妻
味噌に加えたとびと品です。



メロン

八代市は県内を代表するメロ
ンの産地です。収穫時期は4月
中旬～6月下旬。



お茶

寒暖激しく、露深い
という泉町特有の気候が豊
かな風味を育んでいます。さらにこだわりの職
人が「香り高いお茶」に丹念に仕上げています。



ヒラメ



コノシロ



ガザミ(ワタリガニ)

八代海では、ヒラメ、コノシロ、
ガザミ(ワタリガニ)などが
水揚げされています。



うなぎ

八代近海で獲れるものは地元で
「青うなぎ」と呼ばれ、脂がのって
おり重宝されています。



やまめ

五家荘地区を流れる清流は夏で
も15度程度とやまめの成育に適
した環境です。



あさり

八代海の豊富なえさで育ったアサ
リは、身入りが良く、旬の香には絶
いっぱいに身が詰まっています。



青のり

球磨川などの河口で採れるミネラ
ル分が豊富で、食物繊維たっぷりの
青のりです。



はまぐり

八代で水揚げされるものの
多くは、日本で古くからなじ
みのある在来種「ハマグリ」。



鏡オイスター

八代海の恵みを受けて育った
身入りが良く、濃厚、クリーミ
ーなマガキです。



鮎

八代を流れる日本三急流の一つ球磨川。
その急流で育てられることにより、身は引き締まり、
豊富なえさで味もとても上品です。



日奈久ちくわ

海の幸に恵まれた日奈久では、明治より
日奈久温泉の特産品と知られています。
豊かな風味とプリッととした食感が特徴です。

水のめぐみ

八代は、西に八代海が広がり、平地には日本三急流の球磨川を
はじめ氷川などの清流が流れています。この水の恵みを受けて
鮎やヤマメ、八代海には、ヒラメ、コノシロ、牡蠣、アサリ、ガザミ等、
また、青のりやちくわなどの海産加工品があります。

八代特産ギネスにも認定された世界最大の柑橘類

ばんべいゆ 晩白柚

NEW

ギネスに認定された晩白柚は、重さ5.528kg通常の2倍程の大きさで、バスケットボール程の大きいサイズです。認定者:前田一喜氏



晩白柚せっけん「ゆ」



入浴剤
ばんべいゆ風呂の
かほり

八代を代表する果物。とてもさわやかな香りをはなら、その実は果肉だけではなく、皮もお菓子などに使われます。世界最大級の柑橘類で重さは約2kg、直径は20cmを超え、最大のはギネスブックにも登録されています。収穫期間は12月～2月。



晩白柚ペーストを使ったカクテル「マキシ」



晩白柚ハードゼリー



晩白柚ゼリー



まんまる菓実 晩白柚



お米の晩白柚クッキー



晩白柚ラスク



晩白柚万十



晩白柚漬



日本一の生産量を誇る

トマト

「はちべえトマト」や「塩トマト」は特に有名。八代平野で栽培されるトマトは害虫を寄せ付けないための黄色蛍光灯や防虫テープなど、出来る限り農薬を減らす方法をとっています。



屏風



蔦のれん



草履

草履

いやし草



蔦円座



プリントコースター



蔦き畳

500年の歴史を誇る日本一の生産地

いぐさ

八代でい草の栽培が始まって500年以上となり、現在では、国産畳表の8～9割のシェアを誇り、また歴史的な文化財の再生にも使用されています。い草は空気清浄機能や湿度調整機能などの多くの機能を持っているだけでなく、香りが爽やかにフレッシュ効果もあります。近年は、産地ならではのアイデアを活かし、さまざまな製品を作っています。畳という形にこだわらず、い草の新しい可能性が広がっています。

景勝棚田
で栽培される
生姜

全国有数の産地である東陽町の生姜は棚田で種付けから収穫まで主に手作業で行われます。清流を引いた美しい水を使い、手間をかけた生姜は味、香りともに高い評価を得ています。生姜の風味を生かした加工食品もたくさんあります。



生姜を使ったお菓子



しょうがジャム

生姜シロップ・しょうゆ・ぽん酢



柚子こしょう



柚子の泉(アイスクリーム)



福の甘酒

Food **八代の美味** いもの
地元素材がたっぷり

豊富な
食物繊維を含む
いくさ

八代特産のい草を使った食品です。お茶・あめ・そうめんなどがあります。い草食品は、体内の余分な活性酸素を除去する能力があり、健康食品としての利用性が大きく広がっています。



粉末・焼酎・お茶・あめ・そうめん・うどん

いくさ
抹茶タルト

豊かな自然と風土が育んだ
「やつしろ」のうまかもん



ニッケ玉

蜂蜜

八代の特産品を使ったクッキー



ぼたもち



亀蛇(がめ)せんべい



お茶



あゆ加工品



お酒



青のり



とうふのみそ湯



このしろ寿司



日奈久ちくわ



鰯并当

「彦一とんち話」

全国に知られる「彦一とんち話」は八代地方で江戸時代から語り継がれているお話。民衆のヒーローとんちの得意な彦一と、天狗、かつば、キツネ、タヌキ、松井の殿様らが八代のあちこちで大活躍します。主なお話に、「天狗のかくれみの」「彦一の生き傘」等があります。



氷室祭【ひむろさい】

5/31~6/1

祭りの起源は350年以上前で、無病息災を祈って、八代市東町の三室山につもった雪を献上したのが始まりと言い伝えられています。現在では、厄入り・厄晴れ・遷居等の人生の節目の年に無病息災や家内安全を祈願する、八代神社の祭りとして有名です。祭りの時だけ売られる雪もち(は、米ともち米の粉を半分ずつ混ぜ合わせ、あんこを入れてセイロで蒸してあり、素朴な味が人気です。また、雪もちを食べると1年間健康で過ごせると言われています。



雪もち



彦一もなか

匠の技が光る

八代の特産品

古くからの歴史と伝統を持ち、職人のこだわりが光る工芸品は、どれもすばらしい芸術品。妥協を許さず、決して手を抜くことのない一品一品は、県の伝統的工芸品に指定されている名品もあり、使い手の心に喜びを感じさせてくれます。



日奈久竹細工

竹の持つ独特の温かさを活かした籠や削り箸などのさまざまな竹製品は、一つひとつ手作りされており、繊細な細工と上品な色使いは、まさに職人の成せる技。お土産品や家庭用品として古くから親しまれています。

制作者/桑原晋次郎
工芸名/竹籠

おきん女人形・板角力人形

おきん女人形は、200年も昔から日奈久で作られていて、お土産品、飾り物として愛用されてきました。板角力人形は天保時代、八代日奈久にいた鶴ヶ崎という力士にちなんで作られ、桐材の薄い板を切り抜いて作られます。

制作者/桑原晋次郎
工芸名/おきん女人形・板角力人形



高田焼

別名「八代焼」とも呼ばれる高田焼は、細川藩代々の御用窯として、約370年の古い歴史と伝統を持つ、煎本を代表する焼物。青磁に白い象嵌で模様を描かれているのが特徴で、緻密な細工がとても美しい焼物です。

制作者/上野浩之
工芸名/高田焼



鯉のぼり・武者絵のぼり

端午の節句に欠かせない鯉のぼりと武者絵のぼり。武者絵のぼりは一本人が手書きで染め付けられ、機械染めにはない色合いの深さ、あざやかさが特徴です。

制作者/平本染工場
工芸名/五月節句のぼり



鎌

握ったときのフィット感、作業時の握る力の軽さは他に類をみません。切れ味はもちろんだら、使用感も抜群です。

制作者/福島賢二
工芸名/鎌



手打ち刃物

伝統と歴史に裏打ちされた刀鍛冶の技術で作られる刃物は、切れ味が鋭く、耐久性に優れているだけでなく、とても美しい製品です。

制作者/盛高輝猛
工芸名/手打ち刃物



刀

木村家は代々人吉城主、相良家の御用刀匠を務めてきた家系で現在9代目。新作名刀展に度々入選した日本の伝統技術の粋を集めた刀剣は、日本人の心を打つ究極の美しさを持っています。



制作者/木村兼定
工芸名/刀

熊本県伝統的工芸品

熊本県から指定された優良な伝統工芸品です。伝統工芸の手作り性を手で象徴し、熊本県のマークを入れて熊本の工芸品であることを示しています。

やつしろの自慢の特産品が盛りだくさん

八代よかところ物産館



八代の玄関口、JR新八代駅の東側にある物産館。八代市全域から新鮮な農産物やお菓子などをたくさん取り揃えています。また、併設しているレストランでは、料理長が工夫を凝らした、八代の特産品トマトを使った料理をご堪能いただけます。

- 八代市上田園町4459-1 ☎0965-32-3600
- 営業時間/8:00~19:00
- 休館日/毎月第2水曜日、1/1・2 (よかとこレストラン)
- 営業時間/11:00~15:00(オーダーストップ14:30)
- http://yatsushiro-yokatoko.com

道の駅「東陽」東陽交流センターせせらぎ・菜摘館



「東陽交流センターせせらぎ」の横にある物産館。新鮮な野菜や果物など商品には生産農家のラベルが貼られていて、作り手の真心と品質への自信がうかがえます。東陽町の特産品の生姜を使った加工品もたいへん人気があります。

- 八代市東陽町南105-1 ☎0965-65-2112
- 営業時間/7:30~18:00
- 休館日/毎月第2水曜日(祝日の場合は翌日)
- (野菜レストラン さんふる)
- 営業時間/平日11:00~15:00(オーダーストップ14:00)
- ※平日は昼のみ営業、夜は予約のみ
- 土・日・祝 昼11:00~15:00(オーダーストップ14:00)
- 夜17:00~21:00(オーダーストップ20:00)
- http://www.toyo-seseragi.com/



物産館

来なっせ!!
見なっせ!!



八代亜紀

ふれあいセンターいずみ



五家荘観光への中継基地として、泉町の魅力を紹介する観光複合施設。泉町特産のお茶や柚子、やまめ加工品などの特産品を販売するショップや、泉町の旬の食材を使用した期間限定メニューが人気のレストランなどがあります。

- 八代市泉町下島3296-1 ☎0965-67-3500
- 営業時間/9:00~17:00
- 休館日/水曜日(祝日の場合は営業)
- (隠れ里のお食事処 滋味健丈 伊丹)
- 営業時間/11:00~17:00
- 水曜日定休(祝日の場合は営業)
- ※前日迄の予約(4名様以上)で夜間営業いたします。
- http://www.izumimura.com/fureai/

道の駅「坂本」広域交流センターさかもと館



球磨川沿いにある物産館。季節の野菜や切り花、手作りの加工品が豊富に揃い、手作り味噌、かずら豆腐や味噌漬、天然酵母パン、そらまめ饅頭などが人気です。

- 八代市坂本町荒瀬1239-1 ☎0965-45-2141
- 営業時間/10:00~18:00
- 休館日/12/31・1/1
- http://www.sakamoto-catv.jp/sakamoto-kurean/mitinoeki/index.html

やつしろマルシェ

八代の旬の農・水産物や加工品が販売される生産者直売市です。毎回地元の方をはじめ多くのお客様でにぎわい、生産者と消費者の交流の場として親しまれています。

- 開催日/毎月第2土曜日 9時から
- 場所/桜十字ホールやつしろ
- 問合せ/事務局(柿本)TEL070-5413-4901



やつしろ観光

おすすめコース

城下町 松井家ゆかりの地を散策し 八代の歴史を訪れる旅。



松浜軒

所要時間 / 3時間

八代城跡・お堀舟巡り

▼ 徒歩5分

澤井家住宅及び長屋門

▼ 徒歩5分

お祭りてんでん館

▼ 徒歩2分

松浜軒

石工の里 しょうがの里東陽町で、 石工の匠の技に出会う旅。



笠松橋

所要時間 / 3時間

八代 IC 松橋 IC

▼ 車18分 車29分

東陽石匠館

▼ 車15分

天神木場の棚田

▼ 車10分

笠松橋

東陽交流センターせせらぎ

秘境 五家荘 山深い九州の秘境五家荘で 落人伝説と大自然を満喫する旅。



せんだん轟の滝

所要時間 / 1日

八代 IC

▼ 車40分

ひれあいセンターいづみ(休憩所)

▼ 車50分

せんだん轟の滝

▼ 車10分

左座家

▼ 車10分

緒方家

▼ 車35分

樅木の吊橋

▼ 車10分

五家荘平家の里

▼ 車20分

梅の木轟公園吊橋

▼ 車15分

二本杉峠

▼ 車60分

松橋 IC



五家荘平家の里展示室

八代海ロマン 八代海で観光漁業を体験し 無人島で海の幸を堪能する旅。



やつしろ舟出浮き

所要時間 / 5時間

やつしろ舟出浮き

▼ 車20分

松中信彦ミュージアム

▼ 徒歩0分

八代よかとこ物産館

湯けむり 六百年の歴史を誇る日奈久温泉で 温泉と路地裏の魅力に触れる旅。



日奈久温泉センター「ばんべい湯」

所要時間 / 3時間

八代 IC

▼ 車15分

日奈久温泉

● 路地裏ツーリズム

ガイド本あり

● 温泉センター「ばんべい湯」

お土産

八代の花なみ



桜 八代にはたくさんの桜の名所があります。なかでも八代城跡は城壁沿いに見事な桜が咲き誇り、その景観は圧巻です。毎年多くの花見客で賑わいを見せます。見頃 / 4月ごろ



臥龍梅 松井神社の境内にある臥龍園には樹齢350年を数えるものもあり、県の天然記念物に指定。見頃 / 2月ごろ



しゃくなげ 泉町五家荘で、山開きが行われる頃、五家荘一帯で、しゃくなげの花が美しく咲き誇ります。見頃 / 4月ごろ



茶畑 山の傾斜を利用して作られた異様な段々畑に、山嵐のどか風が吹く頃、茶畑が広がります。見頃 / 4月～5月ごろ



あじさい 春光寺で、毎年見事に色鮮やかなあじさいが咲き誇ります。別名「あじさい寺」と呼ばれています。見頃 / 6月ごろ



紅葉 泉町五家荘は南下でも有名な紅葉の名所で、秋になるともともとも美しさを増します。紅葉祭の時期は毎年多くの観光客で賑わいます。見頃 / 10月下旬～11月ごろ



福寿草 泉町五家荘の岩平土山周辺は、春を告げる福寿草が群生するスポットとして知られています。見頃 / 2月～3月ごろ



牡丹 泉町の赤葉公園は、牡丹の名所として有名で、毎年満開の美しい花を楽しむことができます。見頃 / 4月～5月ごろ



肥後花鳥譜 肥後八花の一つ、毎年松浜軒には約5,000本もの花が咲き誇り、観光客の目を惹きつけています。見頃 / 5月～6月ごろ



ヤツシロソウ 八代地方には自生していませんが、江戸時代(17代)からもたらされたことからこの名がついています。見頃 / 7月～9月ごろ

イベント情報



九州国際スリーデーマーチ 早春の季節に、球磨川やその周辺のコースを歩く祭典。毎年たくさんの方でにぎやか。



八代くま川祭り 球磨川の恵みに感謝し、産業・商業振興を目的に行われる市民総参加の夏祭り。



やつしろ全国花火競技大会 西日本を代表する全国花火競技大会。全国から花火職人が集まり、自慢の花火を競い合う。



五家荘紅葉祭 紅葉で美しくなる五家荘秋の祭り。期間中は泉町一帯で郷土芸能やイベントなどが開催される。



八代妙見祭 八代神社(妙見宮)秋の大祭。平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録。



やつしろのお雛祭り 松浜軒や本町アーケードなどで素敵な雛が飾られる。ランチやスイーツも楽しめる。

- 印鑑神社春季大祭 射取り神事** [4月] 鏡町 印鑑神社
- 釈迦院花まつり** [4月] 泉町 釈迦院
- 岩崎神社春季大祭** [4月] 千丁町 岩崎神社
- 五家荘山開き** [4月中旬～] 泉町 二本杉広場
- やつしろ舟出浮き** [4月～11月] 海洋レジャー基地(三ツ島)
- ふる郷愛鏡祭** [5月] 鏡町 鏡文化センター周辺
- 氷室祭** [5月31日～6月1日] 妙見町 八代神社
- 平家いずみお茶まつり** [6月] 泉町 泉運動広場
- 十八夜祭(ふるさと夏祭り)** [7月] 鏡町 子女観音堂
- 日奈久温泉 丑の湯祭り** [土用丑の日] 日奈久温泉街及びイベント広場
- ヤマメつかみ取り大会** [7月] 泉町 五家荘
- 八代くま川祭り** [8月] お祭りてんでん館及び県道42号線
- 九月は日奈久で山頭火** [9月] 日奈久温泉街
- 十五夜綱引き** [9月] 日奈久温泉センター前広場
- 貝洲加藤神社秋季例大祭** [9月] 鏡町 貝洲加藤神社
- やつしろ全国花火競技大会** [10月] 球磨川(河川緑地(新秋原橋上流))
- 東陽しょうが祭り** [10月] 東陽町 石橋公園・せせらぎ駐車場
- 五家荘紅葉祭** [10月～11月] 泉町 五家荘一帯
- 緒方家イベント** [10月頃] 泉町 緒方家屋敷
- みなと八代フェスティバル** [11月上旬※変更の場合あり] くまモンポート八代
- 平家琵琶と夜神楽** [11月頃] 泉町 五家荘平家の里
- 左座家茶会** [11月頃] 泉町 左座家
- 坂本ふるさとまつり** [11月] 坂本町 グリーンパークさかもと
- 八代妙見祭** [11月] 八代神社及び市内一円
- 塩屋八幡宮祭** [11月] 塩屋八幡宮
- 晩白柚風呂** [12月中旬～1月下旬] 日奈久温泉センター・日奈久温泉旅館
- 久遠子福寿草まつり** [2月～3月] 泉町 久遠子古代の里
- やつしろTOMATOフェスタ** [2月] 八代市本町アーケード・永川町
- やつしろのお雛祭り** [2月～3月] 中心商店街・松浜軒ほか
- 日奈久温泉スプリングフェスタ** [3月] 日奈久温泉神社
- 九州国際スリーデーマーチ** [3月] 横十字ホール・やつしろ
- せんちょう い草の里まつり** [3月] 千丁町 い草の里公園



■宿泊施設

ホテル・旅館名	住所	予約番号
市街地エリア		
八代グランドホテル	旭中央通り10-1	☎32-2111
81のクイーン・タカカワリゾート	旭中央通り23-1	☎32-0711
セレクトロイヤル八代	本町2-1-5	☎34-1111
ホテルα-1八代	本町1-8-39	☎31-0505
ホテルルートイン八代	本町1-1-5	☎53-0011
ビジネス旅館やまだや	出町6-18	☎33-1732
球磨川旅館	萩原町1-2-1	☎32-2015
旅館なにわ荘	清水町1-12	☎32-8145
ホテル大黒屋	豊島町7-15	☎34-0500
やつしろホテル	豊島町9-11	☎32-2223
東横イン新八代駅前店	上日置町4790-1	☎31-1045
ビジネスホテルつる乃湯	川田町西505	☎39-1000
スーパーホテル熊本八代	夕雲町4-1	☎39-9001
HOTEL R9 The Yard 八代	西片町1894-1	☎37-8143

■日奈久エリア

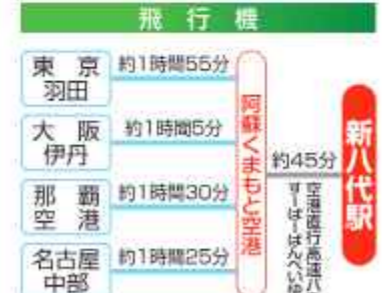
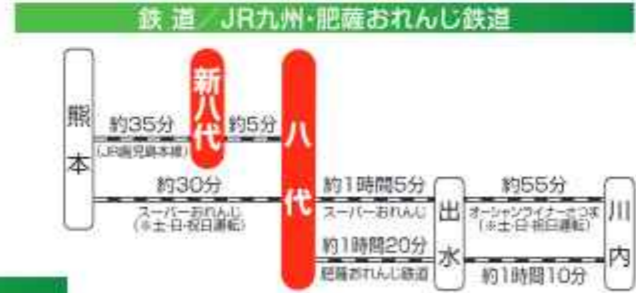
あたらし旅館	日奈久中町283	☎38-0213
旅館宝泉	日奈久中町522	☎38-0823
柳屋旅館	日奈久中町326	☎38-0125
鏡屋旅館	日奈久上西町361	☎38-0026
金波楼	日奈久上西町336-3	☎38-0611
幸ヶ丘	日奈久上西町394	☎38-3016
新浜旅館	日奈久上西町487-1	☎38-0838
武士屋	日奈久上西町360	☎38-0207
浜越旅館	日奈久中西町379	☎38-0103
不知火ホテル	日奈久中西町新4	☎38-0414
ひらやホテル	日奈久東町260-1	☎38-0015
ホテル潮青閣	日奈久中西町485	☎38-3300
新潟旅館	日奈久中町290	☎38-0728

■泉・坂本・鏡・楽園エリア

吉野家旅館	泉町橋本3202	☎67-2015
佐倉荘	泉町栗木6	☎67-5267
民宿平家荘	泉町栗木26	☎67-5258
左座荘	泉町仁田尾65	☎67-5466
桜木山荘	泉町栗木147	☎67-5211
山女魚荘	泉町栗木106-2	☎67-5201
朝日旅館	鏡町藤村888-3	☎52-0242
松山旅館	東陽町南1066-1	☎65-2212

■キャンプ場

八尾山自然公園	☎45-3453
坂本町中谷は又335-2 (10人用コテージ・6人用ロッジ)	
五家荘自然塾	☎67-5530
県町仁田尾25 (体験宿泊施設)	
五家荘渓流キャンプ場	☎67-5448
県町栗木77-1 (バンガロー・キャンプ場)	
播磨八の字広場	☎33-4115 (八代市観光・クルーズ振興課)
遅町字跡田1267 (キャンプ、BBQ、水遊び等)	

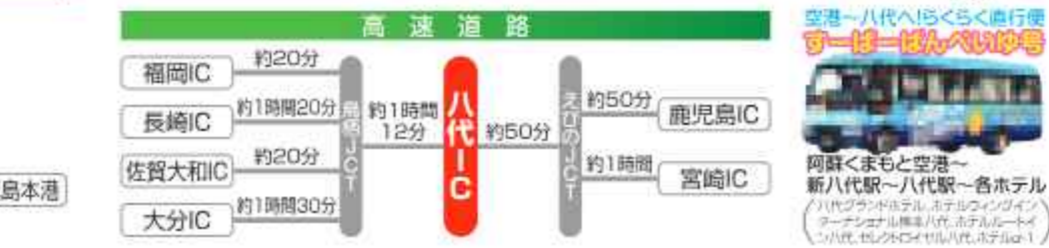


鉄道機関

- JR九州案内センター(時刻・運賃料金) ☎0570-04-1717/9:00~17:30
- 肥薩おれんじ鉄道 ☎0965-32-5678/9:00~17:30(年末年始除く)

高速バス

- 産交バスサービスセンター(高速バス) ☎096-354-4845/8:00~19:00
- バスお客さまセンター ☎0570-00-1010/6:00~24:00
- 宮崎交通お客様/バス案内センター ☎0985-32-0718/9:00~18:00(平日のみ)
- 南国交通鹿児島営業所 ☎099-245-4001/8:30~19:00
- JR九州バス高速予約センター ☎092-643-8541/9:00~18:00
- 神宮交通 サービスばんべい ☎0965-32-2121



道路交通情報

- 日本道路交通情報センター(熊本情報) ☎050-3369-6643
- NEXCO西日本(熊本高速道路事務所) ☎0965-39-0711

